

## 大分県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

大分県は、九州の北東部に位置し、東西128km、南北116km、標高0mの豊後高田市の干拓地から標高1,000m近くの飯田（はんだ）高原まで耕地が分布し、耕地面積の約70%が中山間地域に位置する起伏の多い地勢となっている。このような地域条件を活かして、園芸や畜産、米などの多様な農業が営まれている。

産業構造は、県内総生産（令和5年度：5兆887億円）を産業別にみると、第1次産業が848億円（構成比1.7%）、第2次産業が1兆8,144億円（構成比35.7%）、第3次産業が3兆1,729億円（構成比62.4%）となっている。

農畜産業では、大規模園芸団地の形成と連動した園芸品目の生産拡大、おいしい和牛のブランド確立に向けた生産基盤の強化、多様な需要に応じた販売チャネルの構築等に取り組むとともに、産地を牽引する担い手の育成・確保に力を入れている。

林業では、循環型林業の確立に向け、大径化した高齢林を伐採し、成長が早く花粉の少ないエリートツリー（すぎ）などによる早生樹造林を進めるとともに、林業アカデミーなどによる担い手の育成・確保を推進している。

水産業では、漁場環境整備、拠点放流、資源管理強化を一体的に行う増殖モデルの導入やかぼす養殖魚の生産拡大等を進めるとともに、全国豊かな海づくり大会を契機とした魚食の普及や販路の開拓に取り組んでいる。

大分県では、市場や食品加工企業等からニーズが高く県域での産地拡大が見込まれる園芸基幹品目（※1）、生産量日本一を誇る乾しいたけ、将来にわたって水産業を牽引する基幹魚種（※2）等の生産力強化や販路開拓、輸出拡大の取組を推進している。

また、柑橘や「おおいと和牛」、有機JAS認証乾しいたけの台湾・欧州等に向けた新規販路開拓、「かぼすブリ」といった機能性やストーリー性を備えた特徴ある商品づくりに積極的に取り組んでいる。

（※1）ねぎ、ピーマン、高糖度かんしょ、いちご（ベリーツ）、かぼす、ハウスみかん、露地柑橘、キウイフルーツ、なし、ぶどう、くり、たまねぎ、キャベツ、ホオズキ、トマト（※2）養殖ブリ類、養殖ヒラメ、養殖クロマグロ、養殖カキ類、関あじ・関さば、タチウオ、ハモ、クルマエビ、マコガレイ、マダイ、イサキ

世界農業遺産（平成25年認定）の国東（くにさき）半島宇佐地域は、降水量が少なく、河川からの水利が困難な場所に1,200以上のため池を造って用水供給システムを構築している。稲作のほか、豊富にあるクヌギを使った原木しいたけ栽培やシチトウイ（※）栽培など多様な農林水産業を展開している。※大分県の国東半島だけで栽培されているカヤツリグサ科という植物で、い草に比べて強健で耐久性に優れ、畳表の材料となっている。

## 主な農林水産物

## 夏秋ピーマン

雨除け栽培により作柄の安定を図り、就農学校等を活用した新規就農者の確保と産地拡大に取り組んでいる。（収穫量全国3位）



## きく

海岸地域から準高冷地までリレー出荷体系が確立。リース施設を活用した新規就農者の確保や規模拡大に取り組んでいる。



## かぼす

全国収穫量の9割以上を占める県を代表する品目。「大分かぼす」は令和8年2月に「地域団体商標」登録。企業参入等による産地の維持・拡大に取り組んでいる。（収穫量全国1位）



## ねぎ

干拓地から高原地域まで、標高差を活かした周年栽培を行い、西日本一の産地として安定した供給体制の構築に取り組んでいる。（収穫量全国4位）



## 乾しいたけ

豊富なクヌギ資源を活用した原木栽培が盛ん。「うまみだけ」としてブランド化しており、生産量は全国35%を占める。（生産量全国1位）



## 肉用牛

第12回全国和牛能力共進会（令和4年）で全出品区優等賞に入賞し出品団体賞を受賞。「おおいと和牛」のさらなるブランド化を目指す。



## 木材（すぎ）

日田市や佐伯市を中心に、高品質な乾燥材を県内外に出荷している。（素材生産量全国3位）



## あじ・さば

一本釣りによって大分市佐賀間に水揚げされる県を代表するブランド魚「関あじ」「関さば」。平成18年10月に地域団体商標に登録



## ぶり（養殖）

豊後水道域で養殖され、収穫量は全国の16%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすブリ」。（収穫量全国3位）



## ひらめ（養殖）

陸上施設で養殖され、収穫量は全国の27%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすヒラメ」。（収穫量全国1位）



# 大分県内の各地域における農林水産物

## 北部地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ、なつほのか、にこまる）、大豆、製粉用小麦、醤油・パン用小麦、焼酎用大麦、味噌用はだか麦、白ねぎ、こねぎ、いちご、日本なし、ぶどう、かぼす、ユズ、ギンナン、スイートピー、肉用牛、豚、ブロイラー、茶

【林産物】生しいたけ

【水産物】クルマエビ、ハモ、ガザミ（岬ガザミ）、ノリ、養殖カキ類、養殖ドジョウ、養殖スッポン、養殖ウナギ

## 西部地域

【農畜産物】水稲（ひとめぼれ、ヒノヒカリ、コシヒカリ）、トマト、白ねぎ、すいか、はくさい、クレソン、日本なし、

ぶどう、ユズ、ギンナン、ばら、肉用牛、乳用牛

【林産物】木材（すぎ）、乾しいたけ、生しいたけ、わさび（葉柄）

【水産物】養殖アユ、養殖ウナギ、養殖ヤマメ

## 豊肥地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ、なつほのか、ひとめぼれ）、大豆、焼酎・ビール用大麦、トマト、ピーマン（夏秋ピーマン）、かんしょ、白ねぎ、キャベツ、かぼす、ぶどう、くり、きく、トルコギキョウ、サフラン、肉用牛、豚、ブロイラー

【林産物】乾しいたけ

## 東部地域

【農畜産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ、なつほのか）、大豆、醤油用小麦、味噌用はだか麦、いちご、こねぎ、たまねぎ、ハウスみかん、かぼす、キウイフルーツ、ユズ、ギンナン、きく、トルコギキョウ、ホオズキ、茶、肉用牛、乳用牛、ブロイラー

【林産物】乾しいたけ

【水産物】ハモ、タチウオ、クルマエビ、シラス（豊後別府湾ちりめん）、マコガレイ（城下かれい）、養殖クルマエビ、養殖ウナギ

## 中部地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ、なつほのか）、いちご、かんしょ、しそ、みつば、にら、かぼす、セミノール（かんきつ類）、茶、中晩柑、肉用牛

【林産物】生しいたけ

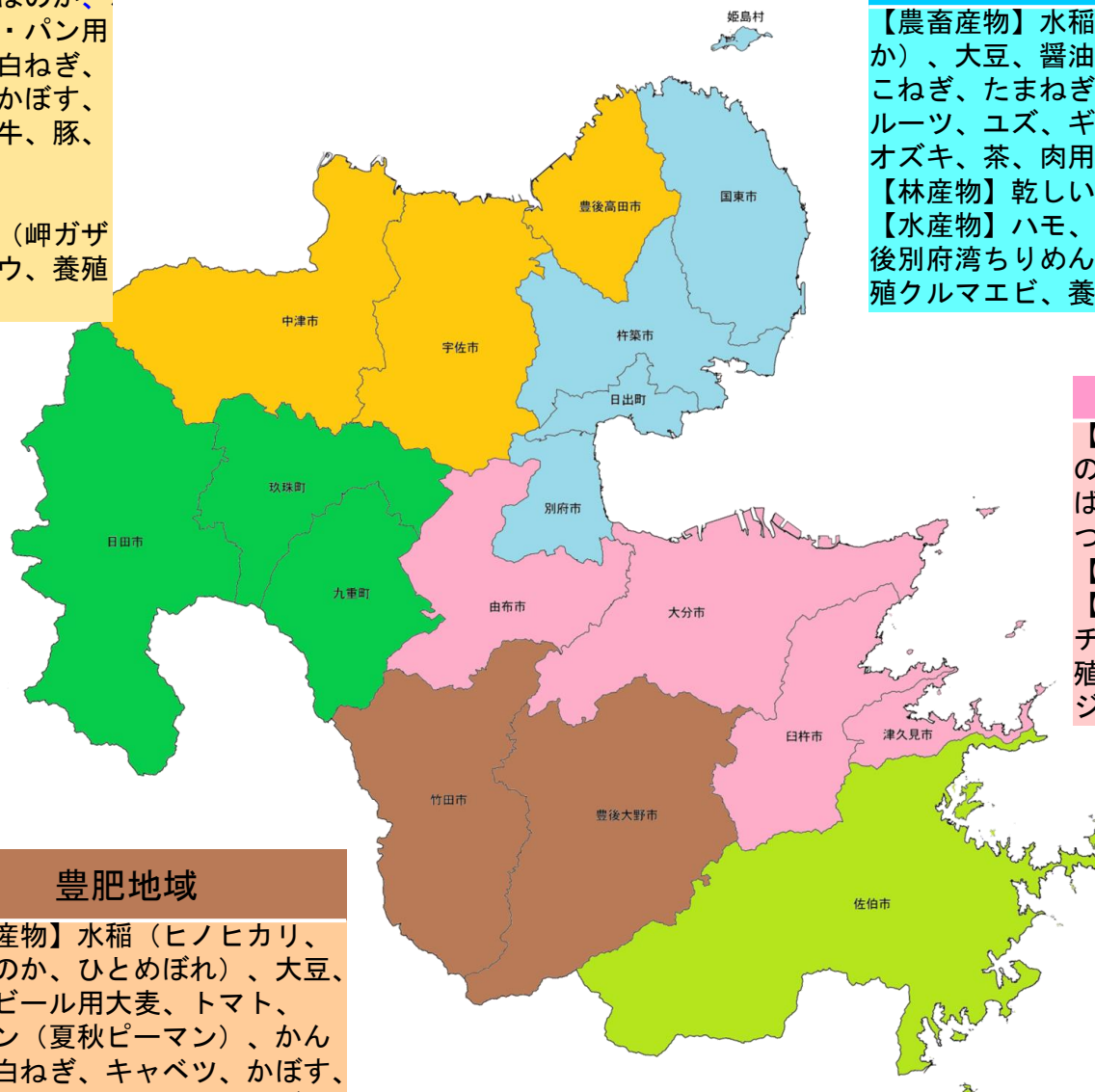
【水産物】関あじ、関さば、関ぶり、タチウオ、イサキ、マダイ、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、真珠、養殖ニジマス

## 南部地域

【農畜産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ）、いちご、にら、中晩柑、セミノール（かんきつ類）、くり、きく、スイートピー、ホオズキ

【林産物】木材（すぎ）

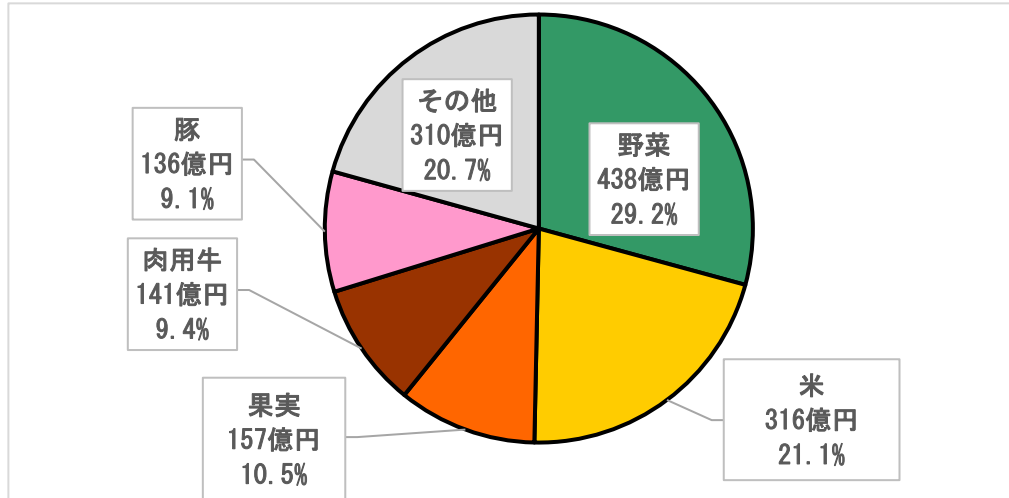
【水産物】イワシ類、サバ類、アジ類、イサキ、マダイ、アワビ類、養殖ブリ類、養殖クロマグロ、養殖ヒラメ、養殖フグ、養殖カキ類



# 大分県の農業（1）

- ・農業産出額は1,498億円で全国25位。うち米が316億円（21.1%）、野菜が438億円（29.2%）、畜産が484億円（32.3%）。
- ・農畜産物の生産状況は、カボス、ギンナン（イチヨウ）が全国1位、ねぎ、にらが4位、はくさい、ピーマンが6位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区分	年次	大分県	全国	全国順位	
二条大麦	収穫量	R7	6,810 t	152,900 t	7 *
はくさい	収穫量	R6	19,600 t	827,000 t	6
ねぎ	収穫量	R6	21,000 t	399,200 t	4
にら	収穫量	R6	3,090 t	55,200 t	4
ピーマン	収穫量	R6	6,190 t	143,000 t	6
日本なし	収穫量	R6	5,920 t	172,700 t	7
きく	出荷量	R6	20,200 千本	1,111,000 千本	12
肉用牛	飼養頭数	R7	49,800 頭	2,595,000 頭	15
カボス	収穫量	R5	6,500 t	6,614 t	1
ギンナン（イチヨウ）	収穫量	R5	340 t	760 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「特産果樹生産動態等調査」

## 農業産出額のデータ

区分	大分県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,498 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	25
米	316 億円 (21.1)	25,524 億円 (23.7)	28
麦類	3 億円	582 億円	15 *
雑穀	0 億円	87 億円	32
豆類	1 億円	621 億円	33
いも類	27 億円	2,565 億円	11
野菜	438 億円 (29.2)	25,510 億円 (23.7)	20
果実	157 億円 (10.5)	10,112 億円 (9.4)	15
花き	44 億円	3,423 億円	24
工芸農作物	16 億円	1,577 億円	15
その他作物	5 億円	583 億円	27 *
畜産	484 億円 (32.3)	36,654 億円 (34.0)	20
肉用牛	141 億円	7,861 億円	16
乳用牛	94 億円	10,035 億円	18
生乳	87 億円	8,937 億円	18
豚	136 億円	7,567 億円	18
鶏	113 億円	10,170 億円	27
鶏卵	49 億円	5,764 億円	29
ブロイラー	47 億円	4,259 億円	17 *
その他畜産物	1 億円	1,021 億円	29
加工農産物	5 億円	565 億円	15

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注：( )は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「\*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 大分県の農業（2）

- ・耕地面積は5万3,800haで全国26位。うち田が3万8,000ha、畑が1万5,800ha。
- ・農業経営体数は1万4,638経営体で全国27位。うち法人経営体数が747経営体で19位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は3,568経営体で全国23位。うち法人数が729法人で14位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が1億円で全国12位、農業経営体数は20経営体で7位。

## 耕地面積

区分	大分県	全国	全国順位
耕地面積	53,800 ha	4,272,000 ha	26
田	38,000 ha	2,319,000 ha	25
畑	15,800 ha	1,952,000 ha	24
普通畑	8,740 ha	1,118,000 ha	24
樹園地	4,320 ha	248,600 ha	17
牧草地	2,710 ha	585,900 ha	11
参考) 総土地面積	6,340.63 km <sup>2</sup>	377,979.74 km <sup>2</sup>	22

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区分	大分県	全国	全国順位
荒廃農地面積	4,994 ha	256,667 ha	20

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	大分県	全国	全国順位
農業経営体数	14,638 経営体	836,054 経営体	27
法人経営体数	747 経営体	33,819 経営体	19
総農家数	20,436 戸	1,394,135 戸	32
販売農家数	13,706 戸	792,808 戸	28
参考) 世帯総数	489,249 世帯	55,830,154 世帯	33
集落営農数	443 集落営農	13,952 集落営農	14

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区分	大分県	全国	全国順位
担い手への集積面積	25,542 ha	2,627,068 ha	27
集積率	47.5 %	61.5 %	19

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	大分県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	14,995 人	1,036,228 人	29
男	9,996 人	659,332 人	28
女	4,999 人	376,896 人	31
65歳以上	11,528 人	721,311 人	28
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	76.9 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	3,568 経営体	212,136 経営体	23
法人数	729 法人	29,684 法人	14
参考) 人口総数	1,123,852 人	126,146,099 人	34

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	大分県	全国	全国順位	
農産加工	総額	13,473 百万円	1,006,107 百万円	23
	事業体数	370 事業体	26,910 事業体	34
農産物直売所	総額	18,382 百万円	1,134,381 百万円	27
	事業体数	320 事業体	20,960 事業体	28
観光農園	総額	202 百万円	39,113 百万円	38 *
	農業経営体数	40 経営体	4,350 経営体	33
農家民宿	総額	111 百万円	4,933 百万円	12 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	652 百万円	39,900 百万円	24 *
	事業体数	20 事業体	1,390 事業体	23

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 大 分 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は180.7億円で全国6位。うち木材生産が122.9億円、栽培きのご類生産が56.4億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国5位、乾しいたけが全国1位、すぎが3位、えのきたけが5位、わさび葉柄が5位。

## 林業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業産出額	180.7 億円	4,769.8 億円	6
木材生産	122.9 億円	2,369.4 億円	5
栽培きのご類生産	56.4 億円	2,322.7 億円	8

出典：「令和6年林業産出額」

## 林産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,019 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	5
針葉樹	1,005 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	5
すぎ	835 千m <sup>3</sup>	11,716 千m <sup>3</sup>	3
ひのき	170 千m <sup>3</sup>	3,019 千m <sup>3</sup>	6
広葉樹	14 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	20
乾しいたけ	生産量 554 t	1,574 t	1
乾きくらげ類	生産量 5 t	131 t	8 *
えのきたけ	生産量 2,670 t	120,678 t	5 *
わさび葉柄	生産量 24 t	1,062 t	5

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 林野面積

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林野面積	455,470 ha	24,744,214 ha	19
国有林	50,189 ha	7,117,059 ha	19
民有林	405,281 ha	17,627,155 ha	18
人工林面積	228,926 ha	10,059,386 ha	16

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 製材工場数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
製材工場数	104 工場	3,547 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	104 工場	3,492 工場	11
国産材のみ	102 工場	3,013 工場	7
国産材と輸入材	2 工場	386 工場	32

出典：「令和6年木材統計」

## 林業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,060 経営体	23,300 経営体	4
法人経営体数	107 経営体	3,813 経営体	11

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

# 大 分 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は366億円で全国14位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面養殖業のひらめが全国1位、ぶりが3位、内水面漁業のあゆが9位、内水面養殖業のあゆが9位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が63億円で全国7位、事業体数は30事業体で9位。

## 漁業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	366 億円	14,785 億円	14
海 面 漁 業	101 億円	8,894 億円	25 *
海 面 養 殖 業	265 億円	5,891 億円	9 *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,509 経営体	65,662 経営体	17
内水面漁業経営体数	35 経営体	4,076 経営体	30

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,524 人	121,389 人	20
男	2,249 人	109,757 人	20
女	275 人	11,632 人	13

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
漁船隻数	2,429 隻	109,284 隻	17
動力漁船	1,605 隻	58,907 隻	14

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	38,040 t	3,589,121 t	21 *
海面漁業漁獲量	17,931 t	2,786,195 t	25
まあじ	1,941 t	92,282 t	10 *
さば類	727 t	255,875 t	24
海面養殖業収穫量	20,109 t	802,927 t	14 *
ぶり	16,242 t	103,780 t	3 *
ひらめ	418 t	1,570 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	278 t	47,046 t	23 *
内水面漁業漁獲量	68 t	17,915 t	17
あゆ	44 t	1,414 t	9
内水面養殖業収穫量	210 t	29,131 t	20
あゆ	59 t	3,487 t	9

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	6,287 百万円	193,147 百万円	7
	事業体数	30 事業体	1,160 事業体	9
水産物直売所	総額	441 百万円	34,259 百万円	24 *
	事業体数	10 事業体	780 事業体	18
漁家民宿	総額	19 百万円	5,440 百万円	29 *
	漁業経営体数	0 経営体	540 経営体	30
漁家レストラン	総額	213 百万円	13,511 百万円	18 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 大分県の農林水産業の話題等

## 大分県農業成長産業化推進本部の始動

大分県の農業・農村地域の持続的発展を目的に令和7年2月に市町や関係団体、県が一体となった「大分県農業成長産業化推進本部」を設置し、園芸作物の生産拡大や中山間地域農業・農村の活性化に向けた取組を展開

### 園芸作物の生産拡大

#### 【大規模園芸団地の計画的な整備】

効率的で競争力の高い営農モデルを確立し、担い手の経営拡大や新規就農者の確保、企業参入を促進するため、「大規模園芸団地10+（テンプラス）プロジェクト」を始動。プロジェクトでは、10年間で10ha以上の大規模園芸団地を10団地以上整備することを目指す。現在、重点地区21カ所の候補地を定め、地元の合意形成や基盤整備等を進めている。

#### ＜事例：元気な担い手呼び込む果樹団地の形成＞

津久見市では、機械化などの省力的生産が可能な柑橘団地の形成を進めており、地元の若手生産者2名により設立された農業法人が入植。今後は、スマート技術の導入による生産性向上に加え、新規就農者の実習ほ場としての活用も視野に入れている。

国東市では、大規模な園地造成により耕作放棄地を再生し、参入企業が国内最大級となる38haのオリーブ園を開発。収穫した果実を使ったオイルや石鹸の製造などの6次産業化などにも取り組んでいる。



オリーブ大規模団地の整備

### 中山間地域農業・農村の活性化

#### 【中山間地域農業・農村活性化指針】

大分県の耕地面積の約7割を占める中山間地は、豊かな自然、景観、気候、風土文化などを活かし、付加価値を高めた農業を営むことができる重要な地域である。このような地域の持続的発展に向け、令和8年2月に「大分県中山間地域農業・農村活性化指針」を策定し、地域の実情に応じた取組を進めている。

#### ＜事例：農村RMOモデルの育成による地域活性化＞

クヌギ林等の山林に囲まれる杵築市山浦地区では、米を中心とした水田農業が営まれている。一方、高齢化等に伴う担い手の減少や荒廃農地の発生が課題となっていたことから、「山浦地域活性化協議会」が主体となり農地保全や地域資源活用等に取り組む農村RMOを形成した。具体的には、遊休地におけるレンゲ草や菜の花の作付けなど景観整備を進めるほか、野草の加工・販売や野草カフェの運営など地域資源を活用した付加価値の創出等に取り組んでいる。



水田へのレンゲ草作付け



野草の栽培